※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「図説　家庭基礎」（実教出版）						
副教材等	２０２３　生活学 Navi　資料＋成分表　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1. 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子ども、高齢者、そして社会との関わりについて理解します。
2. 自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につけます。

２　学習の到達目標

家庭や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身に着ける。

生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章自分らしい生き方と家族	1節　生涯発達する人生 2節　これからの人生をデザインする 3節　青年期を生きる 4節　生活をさせる労働 5節　生活時間からみえてくるもの 6節　男女共同参画社会をめざして 7節　現代の家族 8節　家族･家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 9節　家族に関する法律の理念と変化 10節家族にかかわる法律	a:各ライフステージごとの発達課題について理解し，それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。 b:自分にとっての家族について考えられる。人により家族と思う範囲や家族形態が異なることについてわかろうとしている。将来の自分がつくる家族について考えようとしている。 c:法律と自分のかかわりについて理解し，成年年齢の変更や理由，権利と責任などについて，考えようとしている。	プリント 確認テスト 定期テスト	ワークシート	観察 振り返りシート
	2章　子どもとかかわる	1節　子どもの誕生 2節　からだの発達 3節　運動機能と知的発達 4節　かかわりのなかの発達 5節　子どもの生活習慣と健康 6節　子どもの食生活･衣生活 7節　子どもと遊び	a:子どもの身体の成長について，大まかな流れと特徴を学ぶ b: 子どもの各方面(運動・知的)での発達に大きな影響を与える体験について具体的に例をあげることができる。 c: 子どもの自分でやりたいという気持ちを尊重するためにはどのように子どもに対応すればよいかについて，課題の解決に主体的に粘り強く取り組もうとしている。	プリント 定期テスト	ワークシート	振り返りシート
2学期	3章高齢者とかかわる	1節　高齢社会に生きる 2節　高齢者を知る 3節　高齢者のサポートと介護の心	a: 高齢者の生活に関心を持ち，多様な生き方や価値観にふれる意義を理解している。 b: 資料を読み取り，高齢化の進展と人口減少社会を関連づけながら，高齢社会の課題を設定している。 c: 社会を支えていく担い手としての自覚を持ち，高齢社会の現状と今後の進展状況から，課題を発見し，考察している。	プリント 定期テスト	ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	4章社会とかかわる	1節　共に生きるために 2節　社会保険制度―公助― 3節　社会の一員しての私たちの役割	a：高齢者や障がいのある人など，様々な人と支え合って生きる社会の考え方や「互助」を含めたつながりの重要性を理解している。 b：社会環境の変化で生じる今日的な課題を発見し，生涯を通して誰もが安心して暮らせるよう，社会保障制度の役割を考察している。 c：支え合う社会の一員として自覚を持ち，よりよい社会が構築できるよう，社会全体で支え合うしくみについて自ら進んで学ぼうとしている。	プリント	ワークシート	振り返りシート
2学期	5章　食生活をつくる	1節　私たちの食生活と健康 2節　5大栄養素 3節　炭水化物 4節　脂質 5節　タンパク質 6節　ミネラル 7節　ビタミン 8節　その他の食品 9節　食品の選択と表示 10節食品の衛生 11節食料自給率と食のグローバル化 12節食の未来と環境への取り組み 13節食事摂取基準 14節食品群別摂取量のめやす 15節献立作成 16節調理の基本	a：食生活と健康の関わりについてよく理解している。 b：食事の意味を理解し食生活の課題や理想の食事をじゅうぶん考え，判断し表現できる。 c：自分の現在の食生活を振り返り，将来に向けてより良い食生活を創造するために積極的に取り組もうとしている。	プリント 確認テスト 調理実習 定期テスト	ワークシート	振り返りシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	6章 衣生活をつくる	1節 人と衣服のかかわり 2節 健康で安全な衣服 3節 衣服素材の種類と特徴 4節 衣料素材の性能と改善 5節 衣生活の計画と購入 6節 衣服の管理 7節 家庭の洗濯・保管 8節 持続可能な衣生活をつくる	a：人と衣服のかかわりや衣服の機能についてその背景や風土などに関して情報を収集・整理した上で，理解を深めている。 b：自然環境と衣服のかかわり，社会環境と衣服の関係から，衣服の機能を考え，問題を見出して考察している。 c：目的に応じた被服の機能について理解を十分に深め，健康で快適な衣生活を主体的に営もうとしている。	プリント 被服実習 定期テスト	ワークシート	レポート 振り返りシート
3学期	7章 住生活をつくる	1節 人と住まいのかかわり 2節 平面計画からみた住空間 3節 ライフステージと住まいの計画 4節 健康に配慮した住まい 5節 安全な住まい	a：健康的な生活のための必要事項について理解し，改善のためのポイントを挙げることができる。 b：よりよい住生活のための創造について考え，工夫点を挙げることができる。 c：よりよい住生活のための創造について考え，工夫点を挙げることができる。	プリント 定期テスト	ワークシート	レポート 振り返りシート
	8章 経済的に自立する	1節 日々の主体的な消費行動 2節 社会と家計の変化 3節 長期的な経済計画をたてる 4節 経済のなかの家計	a：家計の構成や収入，支出の特徴について十分に理解している。 b：家計の管理について，自分の生活に関連付けて多角的に考察し，工夫しようとしている。 c：家計費のシミュレーションについて，将来の生活の充実向上を図るために意欲的に実践しようとしている。	定期テスト	ワークシート	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	9章　消費行動を考える	1節　契約と主体的な消費行動 2節　多様化する販売方法と問題商法 3節　消費者を守る制度・法律 4節　多様化する支払方法 5節　消費者の権利と責任 6節　持続可能な社会の構築 7節　持続可能な社会をめざす取り組み	a：消費者として適切な意思決定をするために情報リテラシーと批判的思考が重要である意味を理解している。 b：批判的思考に基づいて情報を収集・整理し，適切に判断できている。 c：自分の消費行動を省みながら，エシカルな消費行動に向けた実践的な態度を身につけている。	定期テスト	ワークシート	振り返りシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度